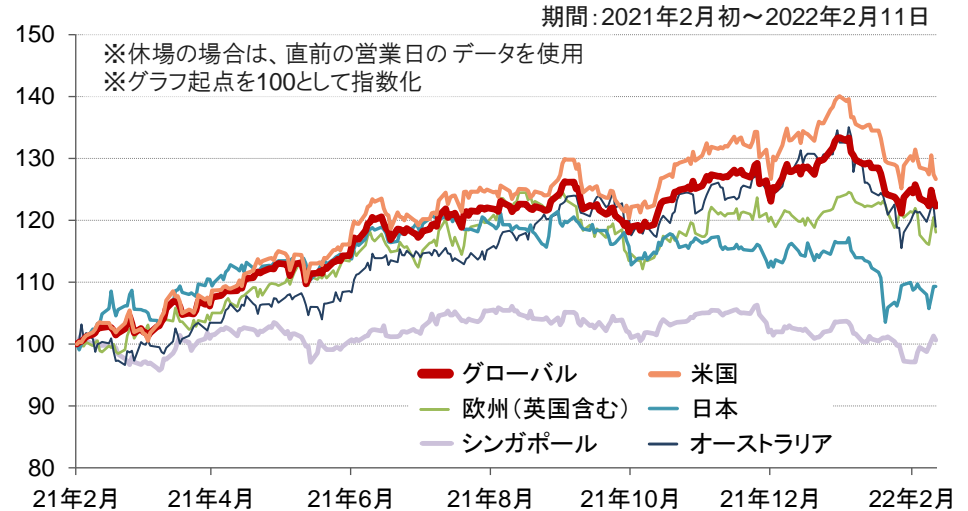


先週(2月7日～2月11日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は、前週末比では▲1.0%となりました。主要金融当局による金融政策の正常化に向けた動きや長期金利の動向などを受け、各国・地域別でまちまちな動きとなりました。

- ・米国REITは、引き続き金融政策の正常化に向けた動向が注視される中、長期金利の高止まりなどが嫌気され、下落しました。セクター別では、米国内でオミクロン株の感染者に減少がみられたことが好感され、宿泊施設や小売、オフィスなどが堅調に推移した一方、株式市場でグロース株への逆風が続く中、データセンターや物流など、成長期待の高いセクターの下落が目立ちました。
- ・欧州(ユーロ圏)REITは反発しました。ECB(欧州中央銀行)総裁が、ユーロ圏のインフレ圧力について、大幅な金融引き締めが必要になるといふ兆候はないとしたほか、いかなる政策調整も緩やかなものになるとの見通しを示し、長期金利の上昇に一服感がみられたことなどが好感されました。セクター別では、オミクロン株の感染者の減少を受け、経済活動の正常化期待が高まる中、好決算を発表した仏小売大手を中心に、小売セクターが上昇をけん引しました。

各国・地域のREIT価格の推移



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

● 2022年2月11日時点(1週間前=2月4日、3ヵ月前=2021年11月11日、6ヵ月前=8月11日、1年前=2月11日、3年前=2019年2月11日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
グローバル	724.54	▲1.0	▲3.8	0.3	19.2	24.8
米国	1,772.15	▲1.4	▲4.1	2.0	22.3	31.3
カナダ	1,473.82	▲0.1	▲1.8	1.8	27.0	26.2
欧州(ユーロ圏)	603.07	2.0	▲4.0	▲7.4	15.1	▲8.4
英国	104.89	▲0.7	▲0.8	▲1.0	22.8	20.8
日本	515.71	0.3	▲5.5	▲8.0	5.8	19.2
香港	855.00	▲0.2	▲4.3	▲5.7	4.8	▲12.8
シンガポール	743.76	1.2	▲4.2	▲4.5	0.8	13.1
オーストラリア	1,008.57	▲2.0	▲3.5	1.3	18.8	21.7

為替(対円)	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
米ドル	115.42	0.1	1.2	4.5	10.2	4.6
カナダ・ドル	90.66	0.3	▲0.0	2.7	10.0	9.3
ユーロ	130.95	▲0.8	0.3	1.0	3.1	5.2
英ポンド	156.61	0.4	2.7	2.2	8.2	10.4
香港ドル	14.80	0.0	1.1	4.2	9.5	5.2
シンガポール・ドル	85.71	0.1	1.8	5.3	8.4	5.7
オーストラリア・ドル	82.37	1.0	▲1.0	1.1	1.4	5.7

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
 ※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。